

「第8回 流域管理と地域計画の連携方策に関するワークショップ」 開催結果

流域管理と地域計画の連携方策に関する取組やその課題等を土木学会会員と行政で共有するとともに、これらの課題に対する理解を深めることを目的に、「流域管理と地域計画の連携方策に関するワークショップ」を開催。初のオンライン開催となりましたが、456名の参加登録がありました。

今回の総合討議では、『まちづくりや土地利用と連携した流域治水について』をテーマに議論しました。

【プログラム】

- ・日時：令和2年12月9日 14:00～16:00
- ・場所：WEB オンライン開催

1. 開会

開会挨拶 京都大学大学院 教授 立川 康人（流域管理と地域計画の連携方策研究小委員会委員長）
法政大学 教授 道奥 康治（河川懇談会座長）

2. 基調講演

「令和2年豪雨災害による被災の視点から見た流域治水」
九州大学 教授 矢野 真一郎

3. 話題提供

1) 「流域治水」の取り組みの方向性

国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 河川計画調整室 室長 朝田 将

2) 水災害対策とまちづくりの連携

国土交通省都市局都市計画課 土地利用調整官 松野 秀生

3) 河川砂防技術開発公募制度の概要

国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 河川情報企画室 室長 平山 大輔

4) 水災害リスクカーブの推定手法の高度化と社会変化・気候変化適応策評価への適用（河川砂防技術研究開発公募研究）

京都大学 助教 田中 智大

5) 避難遅れゼロを実現するための「みんなでタイムラインプロジェクト」自治体全域展開方策に関する研究（河川砂防技術研究開発公募研究）

筑波大学 教授 川島 宏一

4. 総合討議「まちづくりや土地利用と連携した流域治水について」

- ・コーディネーター：小委員会委員 熊本大学 准教授 田中 尚人

5. まとめ、閉会 小委員会委員長 京都大学大学院 教授 立川 康人



基調講演の様子



オンラインによる総合討議の様子